

まらゆま

YAMAGUCHI Nursing Association

山口県看護協会報

January

【新年号】

2017
Vol.136



防府支部



リフレッシュ研修 講師 黒川康生先生



お笑い体操公演



看護の日イベント
看護学生さんも参加



まちの保健室（市民文化祭）



ナースカフェコーナー

CONTENTS

- 2 会長新年のあいさつ
- 2 受賞者紹介
- 3 今年の顔 西年生まれの抱負
- 4~6 支部長メール(周南・山口・長門)
- 7 ひたむきな保健師Vol.26
- 8-9 ナースセンターだよりNo.120
- 10 医療安全情報No.33
- 11 働き続けられる職場づくり推進事業

- 12-13 災害支援ナースが熊本で活動しました!
- 14 心の継承式
- 15 認定看護管理者教育課程募集
- 15 information
- 16 ちょこっと自慢
- 16 表紙に寄せて
- 16 平成29年度の入会について
- 16 お知らせ・編集後記

平成28年度
山口県看護協会会員数
2016年11月12日現在

○保健師	471名
○助産師	326名
○看護師	8,506名
○准看護師	712名
合計	10,015名
	(加入率：42.0%)

新年のご挨拶

会長 吉村 喜代子



新年あけまして、おめでとうございます。健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様のご協力・ご理解により、平成28年度会員数は、10,015名となり看護の専門団体に寄せる会員の方々や看護職者の期待の大きさに、看護協会の役割の重大さを改めて感じております。

昨年は熊本地震における被災者の方々の健康管理活動に、災害支援ナースはもちろん、快く派遣してくださいました施設長はじめ管理者やスタッフの皆様にご心より感謝申し上げます。今までの皆様方のご支援・ご活躍が、昨年9月13日の山口県との「災害時における医療救護活動及び健康管理活動に関する協定」の締結に繋がることができました。ありがとうございました。発災時には、看護の専門職能業団体として「使命」と「誇り」を持ち、「医療救護活動」「健康管理活動」を通して、県民への支援を行って参りたいと思います。

今年は、第48回日本看護学会ヘルスプロモーション学術集会を「維新150年、山口からの発信!住民が「しあわせ」になる地域づくりの真髄」をメインテーマに9月21日・22日に山口市で開催致します。全国からの参加はもちろんのこと、県内の皆様方からの演題を広く募集しますと共に、多くのご参加を願っております。

さて、今我国は世界に類を見ない超高齢化社会の到来に人々は、「どのような健康状態であっても、住み慣れた地域でその人らしい自立した生活を送り、最後まで尊厳をもって人生を全うする。」ことを願い、看護が生活と保健・医療・福祉をつなぐことを求めています。このような状況の中で、平成27年日本看護協会は2025年を見据え、看護の将来ビジョン“いのち・暮らし・尊厳を守り支える看護”を表明し、ビジョン達成に向けた活動の方向性を示しています。ぜひ、質の高い看護の提供を目指す行動指針として活用して参りましょう。

今は看護にとって激動の時ですが、今こそが看護が大きく飛躍するチャンスです。2025年2035年を見据え、看護職一人一人が看護の原点に立ち「看護の今、看護の未来」を俯瞰し、看護職者として考える力を土台に、「課題解決能力」「調整力」「行動力」を身に付け、看護の力で、人々が主体的に健康でその人らしい生活を営んでいくことができる未来の実現を目指し、看護職が共に取り組んでまいりたいと思います。この一年が皆様にとって、飛躍の年となりますことを祈念し、新年の挨拶といたします。います。

受賞者紹介

受賞おめでとうございます 心よりお祝い申し上げます。

山口県女性活躍推進知事表彰

原田 典子 (原田訪問看護センター)

今年の顔

～百年生まれの抱負～



「楽しく」

徳山医師会病院
吉村 竜之介

看護師として働き始めて1年と半分以上が経ちました。今年の4月で3年目になる年でもあり、リーダーを任される時期でもあります。辛い時期もあると思いますが、1人で抱え込まず周りには頼りになる優しい先輩方がいらっしゃるの、アドバイスを頂きながら乗り越えていきたいと思っています。そして楽しく仕事をしていきたいです。



「生涯現役かな・・・」

リハビリ特化型アイサービス・
リハビリ訪問看護ステーション
Fun to Life 松本 則子

保健師になり50年になりました。
保健所保健師として働き始め、退職後は山口芸術短期大学で介護職を育て、周南の老健、美祿の特養、山口の病院勤めを経て今は芸短時代教員の立ち上げた宇部のリハビリ訪問看護ステーションで働いています。
幸い健康にも恵まれ、先輩の方々、後輩、友人、家族に支えられ元気に年女を迎えることが出来ました。自分自身の生活リハビリと思い感謝しながら毎日通勤しています。



「今年の抱負」

防府消化器病センター
防府胃腸病院 町田 樹里

看護師になり3年目となる今年は、先輩看護師として新人看護師に自信を持って助言や指導ができるように、知識をもっと深めていきたいと思っています。また、笑顔を忘れず患者様に寄り添った看護が提供できるように、日々努力していきたいと思っています。



「新しい年を迎えて」

山口県立総合医療センター
伊藤 令子

あっという間に勤続38年目を迎えました。助産業務を通して出会えた多くの人たちの笑顔や職場の仲間、家族の支えが私の活力になっています。これからも、明るく・楽しくをモットーに、看護職としてのセカンドキャリアを積んでいきたいと思っています。



「2017年 新年の抱負」

山陽小野田市民病院
小野 明子

「ポジティブシンキングな私」になり「ピンチはチャンス」と捉えチャレンジ精神で挑戦していきます。百年生まれの人にとって、2017年は新しいことに挑戦すると良い年だそうです。今年新生活を始める家族にもポジティブシンキングで応援していきます。「イロ酉ドリ」な幸せが訪れる一年になりますように…。



「今後の抱負」

山口県済生会豊浦病院
林 建宏

看護師として12年目を迎えます。上司からの励ましやスタッフの協力、家族の支えがあり、ここまで働き続けることが出来ました。これからも感謝の気持ちを忘れず、患者に寄り添った看護を提供していきたいと思っています。

看護フェアと教育研修会の紹介

周南支部



周南支部は、瀬戸内海に面した美しい景観の山口県東部に位置し、会員数1629名を有する支部です。

本年度の支部行事で初めて開催した「看護フェアin周南」と「一般教育研修会」を紹介いたします。

1.看護フェアin周南

平成28年8月18日（木）スターピア下松で、未来の看護師育成を目的とした「看護フェアin周南」を開催しました。オープングライブでスタートし、看護職の魅力を小・中・高校生にP

Rし、楽しい時間を過ごしてもらいました。特に盛況だったのが高齢者体験コーナーでした。重い高齢者用具を両手足に装着し、目にゴーグル、両耳に耳栓、杖をつきながら階段昇降を体験し、「お年よりは歩くだけでも大変」と感想を伝えてくれました。ちよるも参加し、スタッフ30名が企画・準備・運営に協力してくれたおかげで無事終了できました。本年度の評価を3年後の「看護フェア」に生かし、更に良い企画立案をしていきたいと考えています。



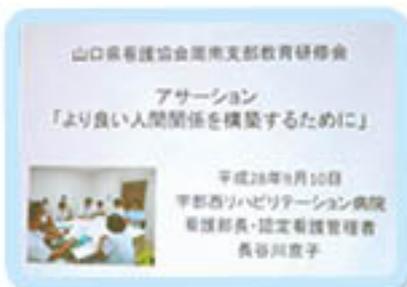
2.一般教育研修会

平成28年9月10日（土）スターピア下松で、宇部西リハビリテーション病院看護部長 長谷川京子先生を講師にお迎えし、アサーション「より良い人間関係を構築するために」をテーマに90分の講演会を開催しました。人間関係の苦手な人、コミュニケーションの苦手な人を対象とした人間関係支援法を学びたいと



104名の参加がありました。人間関係によって生じる不快さの多くは、自分自身が作り出しているもので、過去と人は変えられない事実を知ることが大切と教えて頂きました。長谷川先生は自身の

病院でアサーションを積極的に取り入れ、具体例を交えながら熱く語っていただき、参加者から「自分を振り返る良い研修会だった。」と多くの評価を受けました。私も日常でのストレスやリスクを避けず、上手に付き合いながらコミュニケーションを図っていきたく思います。周南支部では、今後も委員会及び役員会メンバーでより良い研修会を開催出来るよう努力していきます。



山口支部の活動紹介

山口支部



平成28年10月15日(土)山口県立大学において、3職能および准看護師合同研修会を開催しました。この研修会は、働き続けられる職場づくり支援事業として、職能委員会が企画しました。

講師には、山口県立大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 藪本知二先生をお迎えしました。先生は中央大学法学部 法律学科卒業後、同大学大学院を経て、現在、県立大学にて法学関係の科目を担当されています。昨年度まで、

県立大学のアンチハラスメント委員会の委員を務められ、その経験から「職場の中のハラスメント」と題して、ご講演を頂きました。

初めに、先生は「言い方ひとつで次が変わる会話術」について話をされました。攻撃的でも受身的でもなく、自分の意見も言うが、相手の意見も聴くことにより、両者のアイデアの掛け算の成果が生まれるということや、相互の信頼関係も深まるという「相互尊重」コミュニケーションの大切さを教えて頂きました。コミュニケーション能力の必要性を学び、



どのように人と接したらよいか考えさせられました。

その後、パワハラチェックシートを用いて、管理職用チェックリスト、職場環境のチェックリスト、パワハラストレスチェックリスト、職場のパワーハラスメントチェックを各自で行いました。解説にて、それぞれ3項目以上に該当する場合は、要注意ということで、各自で自己点検をしました。

多くの患者様や、その家族、同僚、他職種など多くの方々と接する私達にとって、ハラスメントは、常に配慮が必要な重要な事柄であると思いました。

最後に動画にて、アウトレベル、セーフレベル、上級レベルという部下への指導のお手本を視聴しました。「動画は具体的にわかり易かった」と、アンケートに答えてくださった方もいました。参加された100名近くの皆さんが、上級レベル、すなわち「相互尊重」の必要性を認識し、有意義な研修を終えることが出来ました。



今後も看護職が元気に働き続けられ、地域貢献できる支部活動をしていきたいと思っております。

長門支部活動紹介



長門支部

1、高齢者および認知症者支援のための看護職連携構築モデル事業

長門支部では、平成28年度都道府県看護協会地区支部等における高齢者および認知症者支援のための看護職連携構築事業を県協会から委託され、「在宅に関わる専門職の顔の見える関係づくり—地域の高齢者が認知症になっても安心して生活できるために—」を目標に3つの研修会を実施しました。

第1回 「在宅での高齢者及び認知症者の対応課題」というテーマで、在宅に関わる職種との交流会を開催し、在宅に関わる様々な職種より82名の方が参加されました。

第2回 「地域での高齢者及び認知症者の生活困難の早期発見、見守り」シンポジウムを開催しました。95名の参加がありました。シンポジストとして長門市保健師「認知症についての市での取り組み」、在宅医師「高齢者と認知症 地域で暮らすためには」、社会福祉士「権利擁護、成年後見制度」、長門市警察署「高齢者の行方不明」についてご講演いただきました。



多職種間でのグループワーク

第3回 「高齢者及び認知症者の生活困難の早期発見、見守り」の事例検討会
参加者は67名で、在宅に関わる専門職だけでなく、地域の民生委員さんの参加もあり、活発な意見交換が行われました。

《参加された方からの感想》

・日頃交わる機会がない職種の方と話しが出来て良かった。

・どのような相談ができるのかが解り、早期対応につながると思った。

・他職種がどのような役割を担っているかが解りやすかった。

参加された方全ての方が、連携の必要性、そのための交流会(顔の見える関係)をつくる必要があると、今回のような取り組みを続けていくことが重要と考えられていることが解りました。



事例検討会



シンポジウム

2、「看護カフェ」を行いました。

平成28年8月7日(日)山口県看護協会長門支部主催(後援:長門市)の「看護カフェ」を行いました。

当日は、酷暑の中にも関わらず、看護に興味のある高校生、中学生、小学生、小さいお子様から一般の方まで男女問わず幅広くご参加いただき、盛大なうちに終えることが出来ました。

当日は、地域の病院の説明会や、看護学校による「看護師になるための道のり」などについての説明が行われ、参加いただいた皆さまは真剣なまなざしで、お話を聞かれています。また、体験コーナーでは「ナースのユニフォームで写真撮影」、「感染対策!手洗い実習」、「妊婦体験」、「救急時の蘇生方法」など、驚きあり、笑いあり、学びありの体験をしていただきました。

今回参加された方の中から、ひとりでも看護師を目指していただければと思います。



救急蘇生体験



妊婦体験

様々な社会変化の中で活動に迷いを持つ保健師が増えている昨今、保健師職能委員会では、地道に保健活動を実践している保健師にスポットライトをあて、保健師から保健師へと技や心が伝えられ受け継がれるネットワークづくりに取り組んでいます。

その一環として、県内でひたむきに頑張っている保健師さんを紹介し応援します。



平生町健康福祉課の皆さん。前列右から2人目が吉本さんです。

仲間を信じ、協力を求めることで、 結束力が高まる!

平生町健康福祉課 保健班長 吉本 みどりさん

profil

家族構成：今は、夫と2人暮らし

血液型：O型

趣味：ランニング

(年に5回マラソン大会に出場、1回はフルマラソンに出場 記録よりも記憶に残るがモットー)、旅行、ミニガーデニング)

◦「保健師を目指すきっかけ」

☆看護学校3年生の時、卒業後は看護師になると考えていましたが、学校の図書室で高知県の駐在保健師についての本を読み、その中の保健師を「素敵だなあ」と思い、さらに1年勉強してみようと思ったことがきっかけです。

◦「保健師として大切にしていること」

☆相手の立場だったらどうかと考えながらじっくり話を聞くようにしています。そうすると、冷静に受け止めることができるように思います。

☆今の自分がここにいられることは、気づかないところで支えられ、助けてもらっているということを忘れてはいけないと思います。複数の新規事業と職場環境の変化が重なり、どうしたらよいのだろうかと大変な時に、職場の仲間と状況を話し、乗り越えることができました。仲間との結束力も強くなると同時に、安心して相談できる仲間がいる心強さとなりました。自分だけでできることには限界があるけれど、周りとの意見を交わすことで次のステップへ進む力になります。

◦「心に残る活動、うれしかったこと」

☆平成7年から思春期体験学習事業の取り組みをはじめ、現在まで22年継続しています。取り組みを始めた時は、周囲から本当に必要があるのかといった疑問の声もありました。しかし、児童・生徒の健康づくりについて養護教諭・栄養教諭との連携がさらにしやすくなりました。

また、中学生の時に思春期体験学習を受けた生徒が母親になり、参加してくれた時に「体験学習を受けていてよかったと思う」との声を聞いたとき、とてもうれしく感じました。

◦「後輩へのメッセージ」

☆仕事とプライベートどちらも立ち止まってしまうような時は、一人で抱え込まず、肩の力を抜いて誰かに応援してもらってください。弱音の吐ける仲間をつくってください。

☆困難な事業に取り組んでいる時、方向性が見えない時でも到達を目指すその過程を楽しんでください。その過程で必ず多くの「景色」に出会うことができます。

職場の仲間からひとこと

いつも穏やかで住民や私達に優しく接していただき大先輩の周りにはいつも温かい空気が漂っています。一つひとつの仕事一人ひとりの住民を大切にしている姿勢は保健師として学ぶものがあります。これからもランナーとして鍛えられた体力で、まだまだ一緒に保健師活動を頑張っていきましょう。

インタビューを控えて (インタビューアの感想)

穏やかな表情で、たくさんの貴重な経験をお話していただきました。優しいまなざしの中に、事業に対する目的や強い意志をもち、粘り強く活動されていることが伝わってきて、元気と勇気をいただきました。

担当は森岡(柳井支部)・福重(東町編)でした。

平成28年度サテライト事業

中学校を訪問し、看護について説明をしました。

超高齢化社会の進展や少子社会における中、看護職確保のために学生が進路をきめる段階で、看護職についての正確な情報等を提供する目的で市の教育委員会の許可を頂きサテライト出張地区と防府市内の中学校を訪問しました。



相談支援員 金子 恵子

5月から開始し、10月現在までに34校を訪問し校長先生、教頭先生、進路担当の先生などに看護界の現状や看護師への進路、キャリアの積み方等のお話をさせて頂きました。



相談支援員 宇多川文子

… 訪問後の感想をお聞きしました …

防府市立富海中学校
藤田守弘教頭先生



「今後ますます加速する少子化社会において、医療現場では看護師数を確保することが求められています。看護師が、さらに医学的な知識や技術を高める教育を受けることで、今まで以上に安心で、安全かつ効果的な医療・看護を効率的に受けることが可能になる事を今回の訪問で学びました。そのためには、学校で必要な教育や適切な進路指導が、これからの日本の医療を支える基盤となることを実感しました。」



中学校訪問実績報告

(10月31日現在)

件数	地区	学校名
1	岩国・柳井	岩国市立川下中学校
2		岩国市立東中学校
3		柳井市立南中学校
4		柳井市立大島中学校
5		柳井市立西中学校
6	周南	周南市立岐陽中学校
7		周南市立富田中学校
8		周南市立周陽中学校
9		周南市立須々万中学校
10		周南市立秋月中学校
11		周南市住吉中学校
12		周南市桜田中学校
13	萩・長門	萩市立萩東中学校
14		萩市立萩西中学校
15		萩市立越ヶ浜中学校
16		長門市立深川中学校
17		長門市立三隅中学校
18		長門市立仙崎中学校
19	宇部	宇部市立神原中学校
20		宇部市立西岐波中学校
21		宇部市立桃山中学校
22		宇部市立上宇部中学校
23		宇部市立常盤中学校
24		宇部市立東岐波中学校
25		宇部市立厚南中学校
26	防府	防府市国府中学校
27		防府市立牟礼中学校
28		防府市立右田中学校
29		防府市立牟陽中学校
30		防府市立華西中学校
31		防府市立桑山中学校
32		防府市立富海中学校
33		防府市立小野中学校
34		防府市立大進中学校

●山口県ナースセンターのキャラクターうさぎの名前が決まりました。



うさぎの名前は「^{いい}eな」ちゃんです。
無料職業紹介サイト「eナースセンター」が語源です。
77名の方にご応募いただき、ありがとうございました。

●平成28年度未就業看護職対象教育研修

日時 平成29年1月21日(土) 10:00~16:00
会場 山口県看護協会
テーマ 「事例から学ぶ基本的アセスメント」
参加料 無料
対象 未就業の看護職(先着20名)
申し込み 山口県ナースセンター

保育
あります

「1日ナース体験」感想文表彰

11月5日(土曜日)、山口県看護協会にて、「1日ナース体験」感想文の表彰式を行いました。今回は、10作品の応募がありました。表彰式では、会長賞(1名)、優秀賞(3名)の表彰を行い、古村喜代子会長から賞状が授与されました。



受賞者一覧

順位	賞	学校名・学年	氏名	題名
1位	最優秀賞	野田学園高等学校1年	大森真由華	「信じることの大切さ」
2位	会長賞	下関市立川中中学校2年	山村 莉々	「患者さんの笑顔のために」
3位	優秀賞	サビエル高等学校2年	竹野内愛唯	「改めて感じた希望と勇気」
		岩国市立川下中学校1年	立場 春妃	「私の夢の職業」
		山口市立大内中学校3年	田中 美優	「看護科を目指す15歳の夏」

「相談支援センター」の紹介 **あなたの元気のために「相談支援センター」をご利用下さい**

山口県看護協会は、「ケアする人をケアする」の理念のもと相談支援センターを開設しています。看護職がかかえている問題を相談者とともに考え、わずかでも前に進み元気になってほしいと考えています。相談内容は、学習や看護研究、職場環境に関する事、看護業務に関する事、その他なんでもお気軽にご相談下さい。相談日を原則木曜日の週1回としていますが、対応できる日もありますのでお電話下さい。経験を積んだ看護師が対応させていただきます。 **相談支援センター TEL 0835-24-5791**

新しい人にどう教えたらいのかな
働きながら子育てするって大変だなあ
バフハラで悩んでるけど…
看護研究って難しいなあ
看護記録ってこれでいいのかな
看護の仕事私には向いてないかも?

詳しくは山口県看護協会ホームページをご覧ください。

求人・求職のご相談は **山口県ナースセンター(無料職業紹介)** をご利用ください。

TEL 0835-24-5791 FAX 0835-28-9688 e-mail yamaguchi@nurse-center.net
eナースセンター(無料職業紹介サイト) <https://www.nurse-center.net/nccs/>
とどけるん(看護師等の届出サイト) <https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>

冬場に多くなる窒息事故に注意しましょう!

毎年12月から1月にかけて餅(団子含む)などによる窒息事故が多くなります。

9割は高齢者
(65歳以上)



餅以外で喉に詰まると重症化しやすい食品

- あめ
- こんにゃくゼリー
- しらたき
- 糸こんにゃく
- 油揚げ
- など

窒息や誤嚥予防のポイント

- ◆ 食べやすい大きさにする
- ◆ よく噛む
- ◆ 食事に集中する
- ◆ 食事中に会話しない
- ◆ ゆっくり落ち着いて!

緊急時の応急処置

★背部叩打法

★ハイムリック法

覚えておきましょう



とろみ剤をご存知ですか?

冬場には関係ありませんが、高齢者の多い病院や施設では、液体のむせなどの防止に使用される食事補助剤です。

◎使用方法を誤るとかえって危険!!

◎粘稠度の変化に注意!

- ⇒ まぜる食品の温度・濃度、食事摂取までの時間で変化
- ⇒ 個々の嚥下状態に合わせた粘稠度

◎正しく保管しましょう!

- ⇒ 一度に大量に摂取すると窒息の危険性が!
- ⇒ 認知症状のある方、異食行為のある方の近くに置かない!



働き続けられる職場づくり推進事業



平成28年度テーマ「～ライフイベントを乗り越え、どうキャリア形成につなげるか～」の第2回目の研修会を開催しました。



10月20日（木）海峡メッセ下関 参加者 82名

講演1 「人として、看護師として、つながるキャリア、つなげるキャリア」

総合病院聖隷浜松病院 前副院長兼総看護部長 勝原裕美子氏

（感想）

過去があるから現在があり未来を考えられる。これまでの自分を振り返り、これからどうしたいのかを考える機会となりました。より幸せになるために毎日すべき5つの事（つながる・活動的・敏感・学び続ける・与える）を心掛けようと思います。



講演2 「ともに作る専門職の魅力」

元法務大臣 全国黒志面接委員連盟会長
南野知恵子氏

（感想）

南野先生は、国会議員・法務大臣として、多くの法律の制定にご尽力されました。またベトナムやモンゴル等海外での人間関係を大切にされ、積極的に交流されているとのことでした。



「キャリアを積みときには、飛び込んでいく」という言葉が印象的で、先生ご自身の生き方を表しているようでした。また最後に私達に向けて「人生は自分の人生であって他者のものはない。その人生を大切にしてください。」とお言葉をいただきました。

今後の活力とさせていただきます。

事例発表 「キャリア支援のしくみ 人材育成システムの活用」

山口大学医学部附属病院
副看護部長 福田美登里氏

（感想）

日頃の看護実践・役割・自己研鑽の積み重ねにこそ意味があり、キャリアであると再認識しました。管理者は、キャリア開発やクリニカルラダー導入の目的や意義等を、職員に伝え活用できるように働きかける必要があると学びました。教育に関する悩みはどの施設も抱えていると思います。



とても参考になる事例でした。

お知らせ【第4回研修会】

開催日時 平成29年2月25日（土）
12:30～受付 13:00～15:10

場所 岩国国際観光ホテル

講演 「看護職の労働環境の整備に向けて
～勤務環境改善の支援と就職・定着の推進～」

講師 公益社団法人日本看護協会
会長 坂本 すが 氏

※施設の個別相談会 15:20～16:40
施設のお悩みを相談されませんか？



労働環境支援委員会のメンバーです。職場環境の改善やWLBの推進を通して、いきいきと働き続けられる職場づくりを目指し、看護師の確保・定着につなげましょう。



災害支援ナースが熊本で活動しました!

平成28年4月16日、2度目の震度7地震が発生。

その翌日の4月17日、熊本県看護協会は熊本県の要請により、益城町の被害所に災害支援ナースの派遣を開始しました。その後、日本看護協会による広域支援体制となり、山口県看護協会の災害支援ナースも被災地で災害支援活動を展開しました。



災害支援ナースとは… どんな活動をしているの…

「災害支援ナース」は、看護職能団体の一員として、被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるよう努めるとともに、被災者が健康レベルを維持できるように、被災地で適切な医療・看護を提供する役割を担う看護職です。

実務経験5年以上で、一定の研修を修了した看護職が、所属の都道府県看護協会に登録されており、山口県では、その育成・支援をはじめ災害支援に関する活動は「災害支援委員会」が担っています。

活動時期は発災3日以降から1か月間を目安とし、個々の災害支援ナースの派遣期間は移動をふくめて3泊4日の活動を原則とした、自己完結型の活動です。

大規模災害に対応するため、阪神淡路大震災ののち、日本看護協会でその体制が構築され、これまででも、2004年の新潟県中越、2007年前登半島、2011年東日本大震災等の地震災害をはじめ、2014年の広島市、2015年の茨城県の豪雨災害などでも活動しています。

広域支援対応であるレベル3対応となった東日本大震災と熊本地震災害では、山口県からも災害支援ナースが派遣され現地で活動しました。

山口県内では、
平成21年（2009年）防府市の集中豪雨、
平成22年（2010年）山陽小野田市の豪雨災害、
平成25年（2013年）山口・萩豪雨災害
平成26年（2014年）岩国・和木地域集中豪雨においても山口県の災害支援ナースたちが地域での支援活動を展開してきました。



災害支援ナース派遣の仕組み
日本看護協会HPより

災害支援ナースの派遣、活動にあたり、熊本県看護協会、日本看護協会、山口県看護協会はこう動いた!!

月/日	熊本県看護協会・日本看護協会	山口県看護協会
4/16	2度目の震度7クラスの地震発生	日本看護協会より情報収集
4/17	レベル1（単独支援対応）としての活動開始 [熊本県看護協会]	災害支援ナース所属施設に「災害発生に関する情報」等を提供
4/20	レベル2（近隣支援対応）での派遣開始 [福岡県、宮崎県、佐賀県、長崎県、大分県、鹿児島県看護協会]	
4/21	日本看護協会危機対策本部において、レベル3（広域支援対応）への移行が決定	
4/22	日本看護協会から支援要請あり。山口県看護協会に災害対策本部設置、山口県内の災害支援ナース所属施設、日本看護協会と連絡調整をし、4/29から1クール3泊4日の派遣者を要請、調整	
4/29	レベル3での派遣開始 (レベル2での派遣元 [福岡県、宮崎県、佐賀県、長崎県、大分県、鹿児島県看護協会] に加え、「埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、山口県看護協会」の災害支援ナースの活動)	所属施設より提出される「派遣候補者リスト」を基に日本看護協会と調整 決定した派遣者、施設と連絡調整し、災害支援ナースを熊本に派遣 ★山口県災害支援ナースたちは、被災地の避難所での活動を開始

月/日	熊本県看護協会・日本看護協会	山口県看護協会
6/1	レベル3対応からレベル2対応へ移行	山口県より44人の災害支援ナースが派遣され、7か所の避難所で、1クール3泊4日の支援活動を展開した 山口県災害支援ナース全員が無事に帰還 山口県看護協会災害支援対策本部解散
6/10	レベル2対応からレベル1対応へ移行	
6/14	レベル1での派遣終了（熊本県看護協会） 日本看護協会は、レベル2～3の期間に延べ1,688名の災害支援ナースを、4市7町村計28ヶ所の避難所に派遣している	

災害支援ナースは被災地でこんな活動をしました!!

4月29日山口県からの第1陣、6人が被災地へ出発しました。

6月1日まで、1クール3泊4日、計44人の山口県災害支援ナースが、7ヶ所の避難所で活動しました。



熊本駅までは新幹線で、熊本駅で日本看護協会手配のタクシーに乗り、派遣される避難所へ向かいました。

災害支援ナースは、衣食住のすべてを自己完結とし、3泊4日、避難所に常駐し様々な支援活動を行いました。

避難所においては、手洗い指導の感染症対策などの環境整備、体操指導などで運動を推奨し、エコノミー症候群の注意喚起等により避難所生活に起因する健康障害の予防に努めました。

車中泊者や来所する被災者も含む避難者の体調不良者の受診支援や、救護所での活動、急変者への対応はもちろん、夜間も避難所のラウンドを行うなどで健康レベルの低下に努め、必要な場合は、医療チームへの橋渡しも行いました。

また、妊産婦や障がい者、高齢者や小児などにも個別の対応を行い、被災者の命、健康、暮らしを守る看護活動を展開しました。

さらに、災害支援ナースは、行政の保健師をはじめ支援に入った他の医療チームや支援者と連携を取りつつ協働し、支援活動が円滑に行われるための役割も果たしました。

看護の独自の視点と感覚で、発災後の時間の経過や心理状態にあわせた適切なケアを行うなど、それぞれの置かれた状況で、適時に適切なアセスメントを行い看護の力を発揮しました。その看護活動に対して、被災者や関係者からあふれるほどたくさんの暖かい言葉や感謝の気持ちをいただきました。



災害支援ナースとして活動するためには、登録が必要です

災害ナースに登録するための要件は以下のとおりです。（2016.12現在）

- 都道府県看護協会の会員であること
- 実務経験が5年以上の保健師・助産師・看護師
- 災害支援ナース養成のための研修（基礎編・実務編）を修了していること
- 所属施設の所属長の承諾が得られること

〔研修開催時等にはお知らせします。ご不明な点は、山口県看護協会にお問い合わせください。〕

災害支援ナースの派遣および活動は、災害支援ナースはもちろん、管理者をはじめとする施設のみならず、支えていただくご家族、関係者のみなさまのご理解、ご協力があってこそ実現します。この度の活動では、みなさまに多大なご協力をいただき、あらためて「ぶちすごい！山口県の看護のちから」を再認識しました。ご支援・ご協力をいただきましたすべてのみなさまに、心より御礼申し上げます。

〔山口県看護協会 教育研修・事業課 災害支援委員会担当 稲垣〕

心の継承式

継承式は看護学校において、看護師を志し、ふさわしいと認められた看護学生に看護の精神を形で表し、「博愛」「責任」「清潔」の象徴といわれている看護帽を授けます。

また、継承式では、この看護帽を戴く戴帽の儀と、フローレンス・ナイチンゲールがクリミア戦争の際、ランプを手にベッドからベッドへ傷病者を見回ったときの灯火を想定した、キャンドルサービスが行われます。このことによって学生は看護への情熱や責任を感じ、改めて看護の専門的知識と看護師としてのふさわしい人となるよう精進する儀式です。

今回この厳かな継承式を受けられた看護学生の方からのメッセージをいただきました。皆様の後輩の成長をこれからも温かく見守っていただければと思います。

「看護のこころ継承式」を迎えて

山口県立萩看護学校第一看護学科22期生
飯田 遥・蔵本愛里奈

萩看護学校に入学し、半年が経ちました。

私達は、看護を行う上で基盤となる知識を身につけるために日々努力しています。基礎看護技術の練習にも毎日励んでいます。少しずつ、仲間と協力し、支えあい、一緒に成長していきたいという思いが強くなりました。

今回の「看護のこころ継承式」を節目として、一人ひとりが自分の夢に向かって頑張ろうと決意を新たにしました。



平成28年度戴帽式：H28年10月7日（金）

中村女子高校看護科 内田 和子

看護科2年（44回生）39名は、この日、岩崎緑生校長先生より、多数の来賓・保護者に御来臨を賜り、関係の教職員と看護科在校生の見守る中、厳かに一人ひとり、ナースキャップを頭上にいただいた。真摯な会場の中で、ステージ中央のナイチンゲール像から看護使命の灯りを授かりながら、次々と隣へ点火していく光景に、参加された来賓、保護者の皆さんは感動された。そして、将来の看護職を目指す決意として、また今から始まる臨地実習の第一歩の決意として、39名全員で「誓いの言葉」を唱和した。



戴帽式を終えて

下関看護リハビリテーション学校7期生 春藤 夏海



戴帽式を終えて、ナースキャップを戴き、看護師への道にまた一步近づけたと感じました。7期生皆で誓ったナイチンゲール誓詞と、私の目指す「笑顔を絶やさない看護師になる」という思いを胸に、改めて看護学生としての自覚を持ちました。看護師を目指す7期生の仲間と共に、自分の目指す看護師に近づけるよう、学習や技術練習に努めていきます。



平成29年度 認定看護管理者教育課程募集



キャリアアップを
図っています!

教育課程	定員	募集期間	開講期間
サードレベル	25名	平成29年 1月6日(金)～1月27日(金)	平成29年 5月11日(木)～8月26日(土) 平成30年 1月12日(金)～1月20日(土)
ファーストレベル	70名	平成29年 4月25日(火)～5月13日(土)	平成29年 9月1日(金)～12月22日(金)

- ※詳細は本会ホームページの募集要項をご参照下さい。
- ※受講要件を確認後、募集期間内に必要書類をご提出ください。
- ※提出書類は本会ホームページからダウンロードできます。

お問い合わせ先

認定教育課

☎0835-28-8123

✉nintei@y-kango.or.jp



支 部

Information

(1月～3月)



支部名	月日(曜日)	時 間	場 所	行 事 名 等
岩 国	1月19日(木)	19:00～20:30	岩国医療センター附属病院 リハビリ棟4階講堂	コメディカル研修
	1月28日(土)	14:00～16:30	岩国医療センター 研修センター	看護職のための認知症対応力向上研修会
	2月4日(土)	13:30～16:00	岩国医療センター 研修センター	岩国圏域看護研究発表会
	2月11日(土)	10:00～14:30	ゆめタウン南岩国	まちの保健室(物忘れ相談タッチパネル等)
柳 井	1月21日(土)	10:00～12:00	ゆめタウン柳井	まちの保健室 四任測定 保健指導 四管年齢測定
	2月4日(土)	13:15～14:45	周東総合病院	柳井支部研修
	2月18日(土)	10:00～12:00	ゆめタウン柳井	まちの保健室
	3月18日(土)	10:00～12:00	ゆめタウン柳井	まちの保健室
周 南	2月4日(土)	13:30～16:00	光市総合福祉センター あいばーく光 いきいきホール サンリブ下松	周南支部 看護研究発表会 総評:山口大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授 田中清由美先生
	2月12日(日)	10:00～15:00		まちの保健室
防 府	1月15日(日)	10:00～14:30	ゆめタウン防府	まちの保健室
	2月18日(土)	13:30～15:30	県立総合医療センター 大会議室	「看護研究研修会」 講師 山口大学大学院医学系研究科教授 守田孝憲先生
	2月19日(日)	10:00～14:30	ゆめタウン防府	まちの保健室
宇 部	1月21日(土)	10:30～15:30	ゆめタウン宇部	まちの保健室
	2月4日(土)	10:00～12:00	保健センター	宇部支部交流会 「アロマセラピー(アロマスプレーを作ってみましょう)」
	2月18日(土)	10:30～15:30	ゆめタウン宇部	まちの保健室
	2月19日(日)	10:00～12:30	山口大学医学部附属病院 S1教室	宇部支部看護研究発表会
	3月18日(土)	10:30～15:30	ゆめタウン宇部	まちの保健室
小野田	1月15日(日)	10:00～14:30	おのだサンパーク	まちの保健室
	2月19日(日)	10:00～14:30	おのだサンパーク	まちの保健室
	3月26日(日)	10:00～14:30	サイサイ美菜	まちの保健室
長 門	2月17日(金)	18:00～19:30	長門総合病院 大会議室	長門支部看護研究発表会
萩	2月28日(火)	17:00～18:30	萩市総合福祉センター	萩支部保健師職能研修会
下 関	1月14日(土)	13:30～16:00	ゆめシティ	まちの保健室
	2月4日(土)	13:30～16:00	ゆめシティ	まちの保健室
	2月9日(木)	18:30～20:00	生涯学習プラザ 田のホール	第2回看護セミナー「アートセラピー～色や描画の持つ不思議な力～」 講師 (株)アート村アートビレッジ39代表 社会福祉士 藤井元康先生
	3月4日(土)	13:30～16:00	シーモール下関	まちの保健室

私たちの職場 ちょこっと自慢です。

～利用者の夢が実現しました！～

(JCHO下関医療センター附属訪問看護ステーション)

化学療法の副作用が出現し本人の表情も気持ちも沈んでいきました。本人の生きる意欲を高める為に何かできないかと考え、趣味である油絵を多くの人に見てもらってはどうかと病院で個展を開くことを思いつきました。企画してからはベッド上での生活だった利用者が歩行できるまでにADLが上がり表情も明るくなっていきました。

開催期間中はメッセージ箱を設けて「風景画を見てその場に行った様な気持ちになり心が癒されました」「家の玄関に飾りたい」「検査結果を待つ不安な時間が心安らぎました」など来院の方々にたくさんの感想や励ましの言葉をいただきました。

この個展をきっかけにして再び油絵を描き始めています。利用者の笑顔は最高の宝物。今後も生きる意欲をもてるような関わりができるよう心掛けていきたいです。
(寄稿：吉岡)



表紙に寄せて

防府支部は、7月2日に防府市観光協会副会長黒川康生先生をお迎えし、リフレッシュ研修を開催しました。「世界お笑い協会の活動」のお話と「お笑い体操・お笑い三唱」の実技指導を参加者80名と共に楽しく体験しました。

防府支部は、看護の日には地元の看護学生さんが参加し、西日本一のフリーマーケットや市民文化祭にはまちの保健室とナースカフェのコーナーを設ける等地元とのコラボを大切に活動しています。

お知らせ

★明けましておめでとうございます。平成29年度の入会がはじまりました。ご入会をお待ちしております。今回から入会方法が変わりました。不慣れなことも多いかと思いますが、不明な点はお問合せください。

★会報についてご意見等（掲載を希望される記事等）ございましたらご連絡ください。

総務課：TEL (0835) 24-5790 FAX (0835) 24-1230
E-mail: hayakawa@y-kango.or.jp

編集後記

新年を迎えました。今年もより住き年になりますように。
(上田・栗山・橋本・教木)

入会 平成29年度の入会について

現在、平成29年度の入会受付をしております。手続きは、なるべく早くお願いいたします。会費は一人15,000円(日本看護協会会費を含む)です。新加入の方には入会金の納入もお願いいたします。

山口県看護協会事業を発展させるためには皆様方がひとりでも多く会員になってくださることが必要です。社会のニーズに求められる看護をめざすために会員として入会しましょう!!

29年度より入会手続きが変わりました。お手数ですが、下記のとおり手続をしていただきますようよろしくお願いいたします。

◆施設会員

・継続会員 継続申請書の内容を確認→グレーの封筒に入れ
→施設の取りまとめ者へ提出

・新加入、再加入会員等

入会申込書に必要事項を記入→グレーの封筒に入れ
→施設の取りまとめ者へ提出

⇒ 施設の取りまとめ者は施設会員が提出したグレーの封筒に 送付状を添付して日本郵便の私書箱へ郵送

◆個人会員

・継続会員 継続申請書の内容を確認→オレンジの封筒に入れ
→日本郵便の私書箱へ郵送

・新加入、再加入会員等

入会申込書に必要事項を記入→オレンジの封筒に入れ
→日本郵便の私書箱へ郵送

お問合せ先：総務課

TEL (0835)24-5790 FAX (0835)24-1230
E-mail: hayakawa@y-kango.or.jp